Canon imagePROGRAF

使いやすさを極めたシンプル手順、手

ワンクリックで最適な印刷設定に!

ポスターや垂れ幕など、印刷の目的に応じて最適な印刷設定7種類をプリセット。ワンクリックするだけの手軽さだから、初めてのプリンタオペレーションでも安心。さらに、独自の設定の追加も可能です。

標準

POP

ポスター

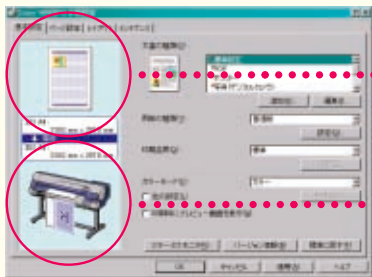
CAD

写真
（スキャナで）

写真
（デジカメから）

垂れ幕／横断幕

カンタンな理由
2

一目でわかる用紙プレビュー!

プレビュー画像を確認しながらの拡大･縮小や分割などの編集もラクラク。用紙の無駄使いや印刷ミスの発生も事前に防ぎます。

フチあり／フチなし

拡大･縮小

長い用紙

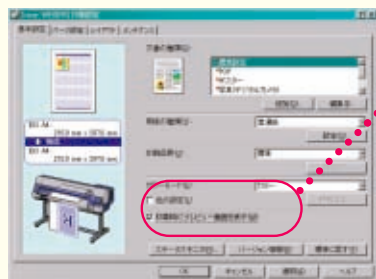
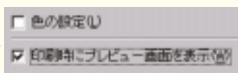
割付印刷／ポスター印刷

グレーモード

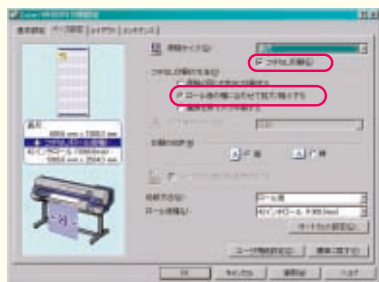
機器プレビュー紙幅の拡大や自動カットも自在。

プリント前の機器プレビューもワンクリック。だから印刷サイズや上下方向、印刷される位置の確認もプリンタドライバ上でラクラクカンタン。

軽にラクラク大判印刷

印刷プレビューで刷り上がりのイメージを確認。

出力したい原稿の印刷イメージをそのままプリンタドライバ上に表示。だから印刷の失敗を未然に防ぎ、イメージ通りの印刷に。

モニタ上で確認できるので出力ミスを防げます！

垂れ幕や横断幕は仕上がりイメージが、ページ物は各ページの印刷イメージが一度にモニタ上で確認可能。

うれしい長尺/フチなし印刷機能。

「ロール紙の幅に合わせる」機能で迫力の垂れ幕/横断幕が手軽に作成可能。普段使い慣れているソフトウェアから印刷できるので、専用の長尺ソフトウェアは必要ありません。さらに、フチなし印刷機能と組み合わせることで、カンタンに完全フチなし印刷を実現します。

通常の出力

[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]と[フチなし印刷]を選択して出力

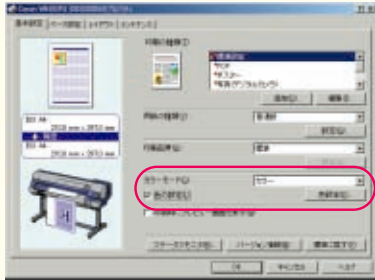
完全フチなし印刷で迫力のある垂れ幕が完成！

完全フチなし印刷機能と組み合わせれば、ポスターサイズ、フォトサイズなどのJIS規格やISO規格の用紙にもジャストフィットで対応します。

ハイクオリティ

カラーも白黒も、微妙な色補正で高画質

高画質な理由(わけ) 1

画像処理ソフトを使わずに微妙な色調整ができる!

30 ステップ 調節可能

カラーバランス調整、色調(明るさ、コントラスト、鮮やかさ)の補正が各30きざみ(-30〜0, 0〜30)で微妙に調節可能。

30ステップきざみの細かいカラーバランス補正や、明るさや鮮やかさ、コントラストなど色調の補正にもキメ細かく対応。画像処理ソフトがなくても高画質カラーで印刷できます。

調整前

調整後

シアン(11)・イエロー(−2)・明るさ(12)・コントラスト(3)・鮮やかさ(9)で、調節すると見違えるように美しい写真に変身。

難しいカラーバランスや、色調補正もラクラク。感覚的な調整で思い通りの色に!

モニタマッチングで モニタと印刷の色が同じに!

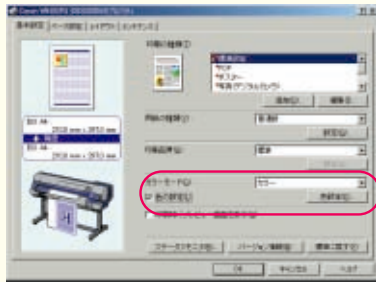
モニタマッチングを採用した新しい画像処理により、モニタに表示される色とプリンタから出力される色とのギャップを抑えています。

モニタでの色

プリンタでの色

モニタとプリンタの色味が近い色だからわかりやすい

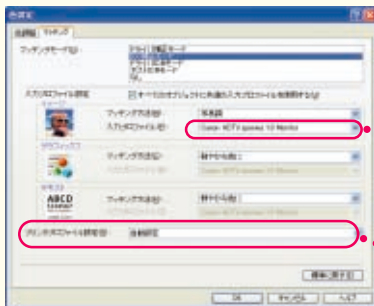
モニタを見て作業した色に近い色で出力されるので、フォトレタッチや校正の時間が大幅に短縮できます!

オブジェクト別に最適な補正が可能。

イメージ・グラフィックス・テキストから補正したいオブジェクトを選択できます。

思い描くイメージをより効果的に伝えるために、写真は写真らしく、グラフィックは鮮やかに、文字はシャープに出力したいもの。そんなときは、調整したいオブジェクトを選択し、ドライバ色設定を使用すれば、高度で繊細な色設定が思いのままに。

高画質な理由 3

ICC補正モードで高精度なカラーマネージメントが可能！

ICC（International Color Consortium）プロファイルとは、カラーマッチングの標準規格。このICCカラープロファイルを用いて、プリンタドライバ内部でカラーマネージメントが可能。さらに、マッチングの方法は、写真調・色差最小・色差最小（白点補正なし）・鮮やかな色に、の4種類から目的に合わせて選べます。

入力プロファイルを選択します

入力プロファイルを選択することで、目的（ターゲット）に合った色で出力することができるため、プロフェッショナルニーズに応えられます。

使用するプロファイルを選択します

出力に使用するプリント用紙の特長に合わせたプリントプロファイルを選択します。ユーザーメディアをお使いの場合でも、ICCプロファイルがあればメディアに最適な出力ができます。

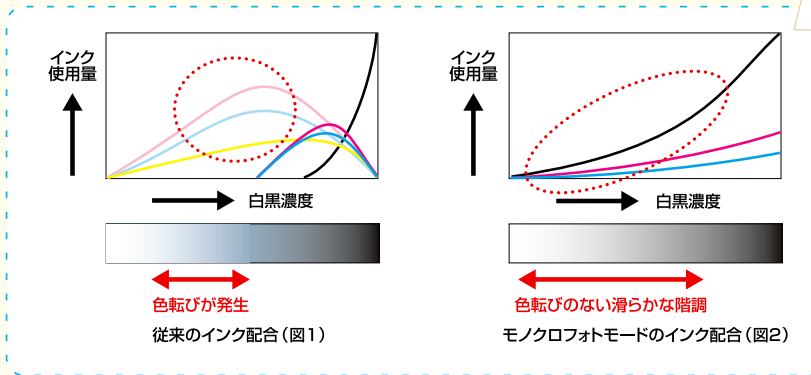
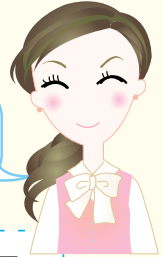
先進の技術で、プロのニーズにも応え

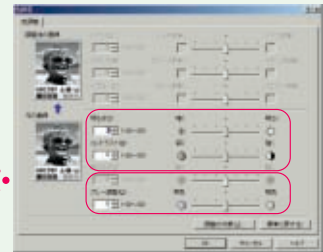
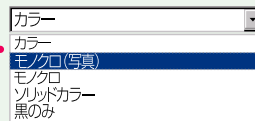
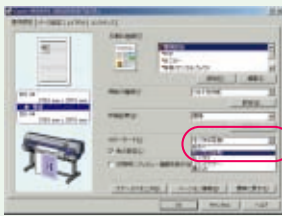
NEW 1

安定したグレーバランスとなめらかな階調!

従来、白から黒へのグラデーションを印刷する際、淡いグレー部分はマゼンタ、シアンとイエローのカラーインクで再現していました(図1)。モノクロ写真モード設定ではカラーインクの多用による色転びを防ぐために、ブラックインク(無彩色)をメインとしたインク配合で、イメージに忠実なニュートラルなグレーバランスを実現。さらにトーンジャンプのないなめらかな階調も再現します。

従来のインク配合（図1）

モノクロフォトモードのインク配合（図2）

［色設定ダイアログ］

モノクロ写真モードでは、ニュートラル色(純黒調)なグレースケールだけではなく、暖かい印象を与えるウォームグレー(温黒調)や冷たい印象を与えるクールグレー(冷黒調)などの色調や調子を表現することができます。

グレー調整機能で、まったく違う印象の仕上がりに。

クールグレー

ニュートラルグレー

ウォームグレー

る高画質の白黒印刷

NEW 2

モノクロ写真モードでニュートラルなグレー色調を再現!

オフィスで出力したバナーポスターをクライアントに提出したところ、色味が違って見えた.....。このように、人間の目には同じ物でも異なった光源の下で色味が異なって見えることがしばしば起こります。これは印刷物が光を反射するときの特性によるもの。高品質の白黒写真を印刷することが難しいと言われる理由もここにあります。「imagePROGRAF」はモノクロ写真モードを新たに搭載することによりグレーの反射性能を大幅に改善。屋外でも室内でも光源に影響されないニュートラルなグレーを再現するため、プロフェッショナルユーザーのニーズに応えます。

光源の影響を受けやすい反射特性

グレー部にカラーインクを多用すると反射特性に凸凹が生じ、光源の変化によりグレーの色調が違うように感じます。

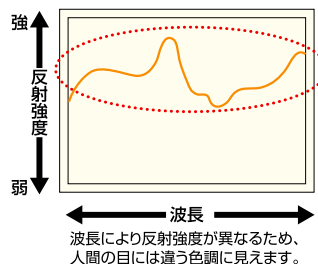
室内光と太陽光ではグレーカラーの見え方がかなり違います。

室内光　太陽光

GRAY　GRAY

同じグレーなのに、室内光と太陽光の下では違う色に見えます。

その理由は…

波長により反射強度が異なるため、人間の目には違う色調に見えます。

光源の影響を受けにくい反射特性

黒インクをメインに配合することにより反射特性をフラットに近づけました。光源に影響されにくいニュートラルなグレーになります。

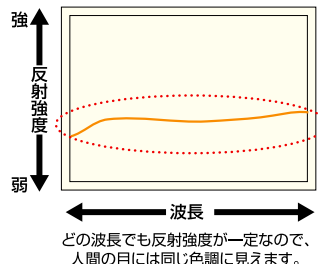
室内光でも太陽光でもグレーカラーの見え方は同じ!

室内光　太陽光

GRAY　GRAY

光源が変わっても、グレーは同じ見え方をします。

その理由は…

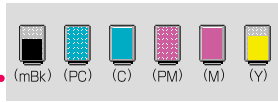
どの波長でも反射強度が一定なので、人間の目には同じ色調に見えます。

SPECIAL TOPIC

微妙なグラデーションの色転びも心配不要!

繊細なグラデーションのグレー表現でも、白黒写真モードを使うことで余計なマゼンタやシアンが出ず、色転びの心配もありません。

クール
ファンクション

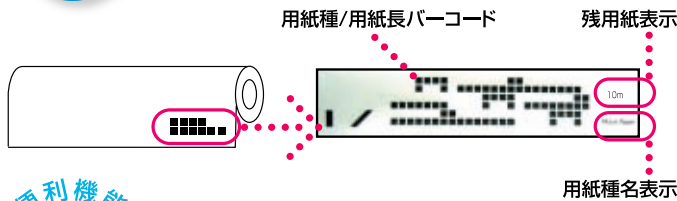
まだまだある便利な機能、使いこなして出力の効率アップ！

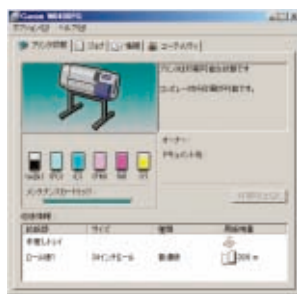
用紙もインクも残量不足の失敗を事前に防止！

［インク残量検知機能］

インクの減り具合に応じて残量を表示、またインク残量が少なくなった時には、警告を表示します。

［用紙残量管理機能］

ロール紙残量カウンターが出力時に紙の残量が不足する場合、自動的に一時停止してメッセージを表示、印刷途中の用紙切れを防止します。残量はプリンタ本体とプリンタドライバの両方で確認することができます。

使いかけのロール紙情報をプリンタで自動認識。

プリンタ本体からロール紙をはずす際、メディア種・ロール紙残量を文字とバーコードで印刷可能。次回セット時はセンサーがバーコードを読みとり、メディア種・ロール紙残量を自動認識します。

過去の印刷履歴や用紙設定情報も一目で確認。

過去に印刷したデータの履歴表示や再印刷、プリンタに設定してある用紙の詳細設定情報も、プリンタドライバでカンタンに確認できます。

●カタログに使用した画面は、一部ハメコミ合成です。